

愛知県犬山市 (所在地: 愛知県犬山市)

事業名

“であい・ふれあい・まなびあい”に向けた新たな公民館講座の展開

事業の趣旨・目的

- これまで生涯学習活動のため実施してきた公民館講座について、障害者も参加しやすい仕組みづくりを行い、内容を拡充する。
- 本事業の実施及び横展開を元に、公民館が共生社会の実現に向けた活動を実施できる施設へと変化していくことを目的とする。
- 社会教育施設を活用した生涯学習機会の拡大促進。

事業実施体制・連携先

連携協議会の構成員：南部中学校教頭、文化協会会長、音楽文化協会会長、NPO法人にこっと事務局長、名古屋芸術大学教育学部教授、市心身障害児(者)父母の会会長、市社会福祉協議会、市障害者支援課

再委託先：名古屋芸術大学、NPO法人いぬやまe-コミュニティーネットワーク

主な対象

すべて (高校1年生以上の市内在住者)

活動分野

アート、ICTなど

事業内容

1. 既存の公民館講座へ障害者が参加しやすい仕組みづくり

オンライン申込の導入、窓口への筆談ボードの設置、必要に応じて手話通訳の対応や介助者の参加を可能とし、障害者が参加しやすい環境を整備する。

2. アート講座の開催

名古屋芸術大学と連携し、アート講座及び参加者の交流会の開催、制作した作品の展示会を開催する。また、制作や展示会の様子をHPにアップし、より多くの人に事業の周知を図る。

3. ICT講座の開催

県の障害者就労支援にも携わるNPO法人いぬやまe-コミュニティーネットワークと連携し、身近にあるタブレットやパソコンなどを活用したICT講座を開催することで、講座が終了した後も家庭で生涯学習活動が行えるような取り組みを実施する。

4. 連携協議会の開催 (年2回)

当事者の意見を交えながら講座の企画立案を行い、障害者も参加しやすい講座について検討する。

5. 1DAY講座・1コイン講座の開催 **NEW!**

連携協議会でのニーズの聞き取りをもとに、初めての人が気軽に講座に参加できるように、一日で完結する1DAY講座と、1コイン講座を開催する。

6. 対象者の拡充

今まで対象者を18歳以上としていたが、学校卒業後の学びを定着させるため、高校1年生から参加できるように対象者を拡充する。

7. 市内公共施設での作品展示 **拡充**

今まで公民館の市民ロビーと社会福祉協議会が主催するひだまり作品展でのみアート講座で制作した作品を展示していたが、多くの方に活動を周知するため、過去の制作作品を活用しながら市内の他の公共施設にて作品展示を実施。

事業終了後の目指す方向性

- 本公民館講座を受講した障害者が、その学びを元にして地域活動なども含む「社会参加」に結びつくことを目指す。
- この事業をきっかけに、寄せられる市民ニーズに対し、時代の流れを踏まえ「より使いやすい」公民館のあり方を目指す。
- 障害者団体との協働を踏まえ、他部署と横連携を行うことにより、公民館のみならず他の犬山市の公共施設について、より障害者の学びの場となることを目指す。

その他

【令和7年度オンライン作品展】

<https://www.inuyama.net/kouminkan/2025.html>

【令和7年度 開催実績】

<前期講座> 9講座 (受講者数: 114名 うち、障害者0名)

<後期講座> 8講座 (受講者数: 85名 うち、障害者1名)

<アート講座> 1講座 (受講者数: 6名 うち、障害者6名)

<ICT講座> 1講座 (受講者数: 8名 うち、障害者8名)

